

4. 個人の研究業績

凡 例

氏 名

- (1 公刊図書等)
- (2 報告書)
- (3 論文)
- (4 解説、翻訳等)
- (5 学会発表)
- (6 講演会、研究会発表)
- (7 所属学会、委員等)
- (8 教育等)

青 木 繁 夫 AOKI Shigeo (国際文化財保存修復協力センター)

- (2 報告) 壁画保存修理の実践 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 pp.8-9 中央公論美術出版 04.6
- (2 報告) X線透過撮影調査 『重要文化財西都原古墳群出土埴輪子持家・船』 東京国立博物館 05.3
- (2 報告書) 『平成 14～16 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 大谷探検隊将来西域壁画の保存修復に関する総合研究』報告書 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 発掘遺構の保存について 『土と基礎』 53-3 pp.24-26 地盤工学会 05.3
- (3 論文) タイ・スコータイ遺跡における水分制御 『土と基礎』 53-3 pp.21-23 地盤工学会 05.3
- (3 論文) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について 『保存科学』 44 pp.149-156 05.3
- (3 論文) Conservation of Archaeological Sites, *Proceeding of the Third Seminar on Conservation of Monuments in Thailand*, pp.4-8, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo 05.3
- (6 講演) 保存科学概論 16 年度歴史民俗資料館等専門職員研修会 国立歴史民俗博物館 04.12.2
- (6 講演) 阪神淡路大震災の経験 文化財保存修復学会セミナー 新潟県立近代美術館 05.1.16
- (6 講演) Conservation of Archaeological Sites, Conservation of Monuments in Thailand, National Archives, Thailand 05.12.13.
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会、日本考古学協会、日本文化財探査学会、風工学会、The International Insutitute for Conservation of Historic and Artistic Works (IIC)
- (7 委員) 平等院国宝修理委員会委員、独立行政法人科学技術振興機構その他革新技術分野分科会委員、科学・学術審議会資源調査分科会専門委員
- (8 教育等) 東京芸術大学大学院文化財保存学専攻システム保存学教授 (連携併任)、國學院大學文学部史学科非常勤講師、日本大学文理学部非常勤講師

青 木 茂 AOKI Shigeru (調査員)

- (4 評論) 新・旧刊案内 18 昭和十八・九年の「山書」、あるいは画家中村清太郎と茨木猪之吉 『一寸』 18 pp.1-7 04.4
- (4 評論) 新・旧刊案内 19 雑感いろいろ、あるいは昭和十九年の木村仙秀 『一寸』 19 pp.1-6 04.8
- (4 評論) 新・旧刊案内 20 昭和十九年の木村仙秀 (承前) 『一寸』 20 pp.1-9 04.11
- (4 評論) 特集・お玉のイーゼル 木村荘八の挿絵から 『彷彿月刊』 233 pp.6-11 05.2
- (4 評論) 新・旧刊案内 21 コレクションについて、あるいは若樹と仙秀 『一寸』 21 pp.1-6 05.2
- (4 インタビュー) ふわふわとした大正時代 東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』 pp.647-659 東京文化財研究所 05.3
- (6 講演) 日本の版画 1931-1940 棟方志功登場 『日本の版画 1931-1940 棟方志功登場』展記念講演会 千葉市美術館 04.9.19
- (6 講演) 山岡コレクションについて 『近代日本洋画への道』展記念講演会 目黒区美術館 04.10.16
- (6 所属学会) 美術史学会、明治美術学会 (理事)

(7 教育等) 文星芸術大学教授、町田市立国際版画美術館館長

青木(近藤) 静乃 AOKI (Kondo) Shizuno (調査員)

(3 論文) 豊原英秋撰『瑞鳳集』について 『芸能の科学』32 pp.1-39 05.3

(5 学会発表) 豊原英秋笙譜『瑞鳳集』所収の朗詠伽陀付物に関して 東洋音楽学会東日本支部第15回定例研究会
東京芸術大学 04.7.3

(6 演奏) Reigakusha (World Music WM-NSB): Japanese court music in celebration of the 150-year anniversary of U.S.-Japan relations with the traditional sounds and a contemporary piece of *gagaku*, Walt Disney Concert Hall, Los Angeles, 04.10.12.

(7 所属学会) 東洋音楽学会、日本音楽学会、中世歌謡研究会

(8 教育等) 日本学術振興会特別研究員 PD (所属: 東京芸術大学)

飯島 満 IIJIMA Mitsuru (芸能部)

(3 論文) 二代目鶴沢清八『義太夫 名人の型』—「明治文楽」追懐— 『芸能の科学』32 pp.111-142 05.3

(4 製作協力) 『古典芸能シリーズ 入門人形浄瑠璃文楽』(VHS 全3巻) 紀伊国屋書店 04.7

(4 資料作成) 雑誌細目『間』総目次(児玉竜一・服部幸雄) 『歌舞伎 研究と批評』34 pp.36-47 歌舞伎学会 05.1

(4 講演会報告) 竹本綱大夫師「竹中砦のこと、先師のこと」 『演劇研究センター紀要』V pp.143-147 早稲田大学演劇博物館 COE プログラム 05.1

(6 発表) 語りの変遷と音声資料 芸能部夏期学術講座 東京文化財研究所セミナー室 04.7.14

(6 発表) 人形浄瑠璃 近現代の変遷をめぐって—人形浄瑠璃文楽の研究と音声資料— 東京文化財研究所総合研究会 東京文化財研究所セミナー室 04.11.2

(6 発表) 資料紹介 吉田兵次「とやぶれ」他 近松の会 日本文学協会 04.12.20

(6 講演司会) 鼎談 歌舞伎舞踊における鹿島踊りとその周辺(坂東鼓登治、稀音家義丸、杵屋勝彦) 東京文化財研究所第35回芸能部公開講座「鹿島踊りの諸相」 江戸東京博物館ホール 04.12.26

(7 所属学会) 歌舞伎学会(編集委員長)、日本近世文学会、日本演劇学会、楽劇学会、情報処理学会

石崎 武志 ISHIZAKI Takeshi (保存科学部)

(1 公刊図書) 四. 壁画に関する科学的調査 高松塚古墳石室内温湿度測定結果(石崎武志、佐野千絵、三浦定俊) 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 中央公論美術出版 04.6

(2 報告) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿彌陀如来坐像 台座、光背および像内納入品 月輪の害虫処理報告—二酸化炭素処置と低酸素濃度処置—(佐野千絵、木川りか、木村広、村林茂、石崎武志、三浦定俊) 『平等院紀要』2 05.3

(2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告—平成15年度—(石崎武志、佐野千絵) 『保存科学』44 pp.173-178 05.3

(3 論文) Study on the water regime around tumulus with mural paintings (T. Ishizaki, C. Sano and S. Miura), *Proc. of 10th International Congress on Deterioration and Conservation of Stone, Stockholm*, pp.737-744, 04.7.

(3 論文) Environmental Study of Storage Houses for Floats (Dashi) in Japan (T. Ishizaki and M. Takami), *Proc. of 21st International Conference of Passive and Low Energy Architecture*, pp. 595-598, 04.9

(3 論文) 鉄筋コンクリート補強された歴史的煉瓦建造物に生ずる白華現象のメカニズム—煉瓦中の含水量が白華現象に及ぼす影響—(松尾隆士、田中亨二、石崎武志) 『日本建築学会構造系論文集』587 pp. 23-29 05.1

(3 論文) タイの歴史的レンガ建造物の保存に関する研究(石崎武志、朽津信明、西浦忠輝、青木繁夫) 『土と基礎』53-3 pp.21-23 05.3

(3 論文) 九州国立博物館の壁付展示ケースにおける換気回数、温度、相対湿度の測定(犬塚将英、鳥越俊行、石崎武志、本田光子) 『保存科学』44 pp. 83-96 05.3

(3 論文) 川越市山車収蔵庫施設内の温湿度変化の実測と解析(石崎武志、高見雅三、古谷太慈、ジョン・グルネワ

ルド) 『保存科学』44 pp.73-79 05.3

(3 論文) 高濃度二酸化炭素ガス中におけるヒノキ材のひずみの測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』44 pp.49-56 05.3

(3 論文) 20GHz-TDR 装置を使った比誘電率測定の特徴(登尾浩助、君島章太郎、石崎武志、武田一夫) 『保存科学』44 pp.97-102 05.3

(3 論文) 高松塚古墳における30年間の気温変動(三浦定俊、石崎武志、赤松俊祐) 『保存科学』44 pp.141-148 05.3

(4 解説) 凍上現象と凍土の性質 『雪と氷の事典』 pp.430-441 朝倉書店 05.2

(5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究(2) 一墳丘部と壁画表面の水分分布測定(石崎武志、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13

(5 学会発表) 漆喰の硬化過程—硬化速度に対するすさ、のりの影響—(稲葉治美、大野彩、石崎武志、佐野千絵) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13

(5 学会発表) 寒冷環境下における版築の強度発現—復元11年目の築地塀解体調査(武田一夫、石崎武志、登尾浩助) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 04.5.15-16

(5 学会発表) 20GHz-TDR 装置と短いプローブを使った比誘電率測定の特徴(登尾浩助、君島章太郎、石崎武志、武田一夫) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 04.5.15-16

(6 発表) 文化財施設内の温湿度環境と建物の構造 保存科学部研究会「文化財の保存(収蔵展示)環境の研究—文化財施設内の温湿度環境と建物の構造—」 東京文化財研究所 04.11.11

(6 発表) Environmental Study of Storage Houses for Floats (Dashi) in Japan (T. Ishizaki and M. Takami), Seminar Study of hygrothermal performance of building materials and products, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.11.12.

(6 発表) Simulation Study of Shelter Effect on Temperature and Humidity Change in the Wat Sri Chum, Sukhothai (Tomoko UNO, Shuichi HOKOI, Makiko Miyauchi, Takeshi Ishizaki and Tadateru Nishiura), Conservation of Monuments in Thailand(III), Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, 04.12.13-14.

(6 発表) Measuring Physical Properties of Bricks Used for Repairing Cultural Heritage Buildings (Kosuke Noborio, Hiroko Sasaki, Yoko Suzuki and Takeshi Ishizaki), Conservation of Monuments in Thailand(III), Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, 04.12.13-14.

(6 発表) Experimental Study on the Effect of a Shelter for the Conservation of Giant Buddha at *Wat Sri Chum*, Sukhothai (Tadateru Nishiura, Chiraporn Aranyanark, Takeshi Ishizaki and Akito Uchida), Conservation of Monuments in Thailand(III), Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, 04.12.13-14.

(6 講演) 文化財施設の保存環境に係わる諸問題 京都大学 04.5.26

(6 講演) 遺跡や歴史的建造物の水に係わる諸問題とその対策 東京工業大学建築物理研究センター 05.2.5

(6 講演) 文化財の保存と雪氷学 雪氷学会 学士会館分館 05.10.8

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本雪氷学会、地盤工学会、日本建築学会、IIC、IIC-Japan、ICOMOS

(7 委員会) 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会委員、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会ワーキンググループ委員、特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会委員、特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会ワーキンググループ委員、長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会委員

(8 教育) 東京芸術大学大学院文化財保存学専攻システム保存学保存環境学講座教授(連携併任)

稲葉信子 INABA Nobuko (国際文化財保存修復協力センター)

(2 報告) Chapter 9. Issues for legal protection/landscape management of the site, Chapter 10. Property zoning control: Revised boundaries for the Core zones and Buffer zones, *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*,

pp.111-132, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2004.

- (3 論文) バーミヤーン渓谷の文化的景観の古代遺跡群 『月刊文化財』 496 pp.40-47 05.1
- (6 講演) 住民参加による遺跡の保存管理 国際協力銀行インド「観光基盤整備事業 (II)」案件形成促進調査ワークショップ インド国ウッタール・プラデシュ州ラクノー市 04.6.17
- (6 講演) 文化遺産、社会におけるその役割—日本の経験 国際協力銀行インド「観光基盤整備事業 (II)」案件形成促進調査ワークショップ インド国ウッタール・プラデシュ州バラナシ市 04.9.6
- (6 講演) 国際的に見る“文化的景観”保護の動向 第16回国際文化財保存修復研究会 東京文化財研究所 04.9.22
- (6 講演) 国際機関、国際 NGO の連携と日本の役割 第19回「大学と科学」公開シンポジウム『人類の歴史を護れ 戦中、戦後における文化遺産の保護と国際協力』 朝日ホール 05.1.23
- (6 講演) 日本の世界遺産—白川郷・五箇山の文化的景観 イタリア・オルチア渓谷世界遺産登録記念文化的景観国際シンポジウム イタリア国 San Quirico d'Orcia 市 05.3.11
- (7 所属学会) 日本建築学会、建築史学会、建築修復学会、ICOMOS
- (7 委員会) ICOMOS 日本国内委員会理事、日本建築学会建築博物館委員会委員、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事業委員会委員、国際協力銀行インド「観光基盤整備事業 (II)」案件形成促進調査作業監理委員会委員、インド政府アジャンタエローラ遺跡保存・観光開発プロジェクト国際専門家委員会委員ほか
- (8 教育) 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻非常勤講師、筑波大学大学院芸術研究科世界遺産専攻非常勤講師、立教大学観光学部非常勤講師、昭和女子大学大学院生活機構研究科非常勤講師

犬塚将英 INUZUKA Masahide (保存科学部)

- (3 論文) 高濃度二酸化炭素ガス中におけるヒノキ材のひずみの測定 (犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 44 pp.49-56 05.3
- (3 論文) 九州国立博物館の壁付展示ケースにおける換気回数、温度、相対湿度の測定 (犬塚将英、鳥越俊行、石崎武志、本田光子) 『保存科学』 44 pp.83-96 05.3
- (3 論文) 平等院 国宝木造阿弥陀如来坐像 台座、光背および月輪の害虫処理—二酸化炭素処理・低酸素濃度処理仕様と実施上の注意— (佐野千絵、木川りか、青木繁夫、犬塚将英、石崎武志、三浦定俊) 『文化財保存修復学会誌』 49号 05.3
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本物理学会

岩井俊平 IWAI Shunpei (特別研究員)

- (2 報告) 安祥寺上寺跡の測量調査成果 (梶川敏夫、上原真人、岩井俊平) 『安祥寺の研究 I』 pp.17-30 04.3 (前年度業績)
- (2 報告) Geographical Background of the Bamiyan (Shin'ichi Nishiyama and Shumpei Iwai), *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*, pp.11-15, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.
- (2 報告) Cave Sites, *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*, pp.44-47, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.
- (2 報告) Art Stylistic Study of Mural Paintings, *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*, pp.47-55 Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.
- (6 発表) トハーリスターンのパン焼きカマド 第11回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会 金沢大学、04.7.3
- (7 所属学会) 日本西アジア考古学会

内田昭人 UCHIDA Akito (修復技術部)

- (2 報告書) 『文化財の防災計画に関する研究—最勝院五重塔の振動測定調査報告—』 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 伝統的木造建築物の振動特性 その12.日光東照宮五重塔の振動実験 (登坂弾行、松留慎一郎、前川秀幸、

内田昭人、河合直人、箕輪親宏、花里利一) 『学術講演梗概集 2004 年度大会 (北海道) 構造Ⅲ』 pp.245-246 日本建築学会 04.8

(3 論文) 五重塔の常時微動測定の有効性と測定例 『五重塔 5 分の 1 模型振動実験及びシンポジウム 五重塔を揺らす—2004』 pp.37-46 特定非営利活動法人木の建築フォーラム 04.12

(5 学会発表) Seismic Performance of Japanese Wooden Pagodas (Akito Uchida, Chikahiro Minowa, Naohito Kawai, Hideyuki Maekawa and Toshikazu Hanazato), *Proceedings of the 8th World Conference on Timber Engineering*, Volume III, pp.453-456, Lahti, Finland, 04.6.14-17.

(5 学会発表) Conservation of the Engraved Rock Wall in the Fugoppe Cave, Japan (Akito Uchida and Tadashi Yasuda), *Conservation of Ancient Sites on the Silk Road: Second International Conference on the Conservation of Grotto Sites, Dunhuang, Republic of China*, 04.6.27-7.3.

(6 研究会パネラー) 五重塔 5 分の 1 模型振動実験及びシンポジウム 五重塔を揺らす—2004 独立行政法人防災科学技術研究所 04.12.16

(6 発表) 文化財防災研究会の背景 第 1 回文化財の防災計画に関する研究会—文化財防災への道— 東京文化財研究所 05.1.28

(7 所属学会) 日本建築学会、日本文化財科学会、日本遺跡学会

(7 委員会) 史跡藤ノ木古墳整備検討委員会委員、五重塔検討委員会委員、大都市大震災軽減化特別プロジェクトⅡ「振動台活用による耐震性向上」木造建物実験木造研究委員会 E-ディフェンス実験実施グループ員

岡田 健 OKADA Ken (国際文化財保存修復協力センター)

(3 論文) 東寺毘沙門天像の十二世紀 院政期文化研究会編『院政期文化論集 4 宗教と表象』 pp.119-123 04.10

(3 論文) Observation on Buddhist Stone Sculpture from the Longxing Monastery, *New Perspectives on China's Past in the twentieth century, Chinese Archaeology, Xiaoneng Yang*, pp.380-391, Yale University Press, The Nelson-Atkins Museum, 04.

(3 論文) The Relationship between Social Changes and Systems for the Protection of Diverse Types of Cultural Heritage: Examples from Japan, *Society and Systems for the Conservation of Cultural Heritage: Beliefs, Peoples and Economy, Proceedings, Twelfth Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage*, pp. 1 2 – 2 9, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 05.3.

(6 発表) 未来に生きつづける文化遺産—その将来像: 日本の場合 第 13 回アジア文化財保存セミナー 東京文化財研究所 04.10.25

(6 発表) 中国石窟寺院の文化的価値と保護の意味 第 17 回国際文化財保存修復研究会 東京文化財研究所 05.3.18

(6 講演) 世界遺産龍門石窟の保護 平成 16 年度文化財講座日本の海外考古学調査 part2 大阪府文化財センター 04.7.15

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、美術史学会

(8 教育) 金沢美術工芸大学非常勤講師

小田 幸子 ODA Sachiko (調査員)

(3 論文) 〈通小町〉—演出とその歴史— 『観世』 71-6 pp.26-34 04.6

(3 論文) 暗闇に浮かぶ舞台—世田谷パブリックシアターの能舞台— 『ステージ・カオス』 8 pp.4-15 04.10

(3 論文) ク・ナウカの方法 『シアターアーツ』 2004 冬号 pp.101-4 04.12

(3 論文) 現代劇と古典劇のはざまに—『子午線の祀り』第七次公演— 『シアターアーツ』 2005 春号 pp.96-98 05.3

(4 解説) 増殖する植物—〈定家〉によせて— 『鶴澤久の会』 8 p.2 鶴澤久の会 04.10

(4 解説) 狂言の多面的世界Ⅱ 『狂言劇場』 2 pp.13-17 世田谷パブリックシアター 05.3

- (7 所属学会) 能楽学会、楽劇学会
- (8 ドラマトゥルグ) 能『菊慈童』前場復曲 梅若会 04.9.19,10.12
- (8 ドラマトゥルグ) 狂言風流『大黒風流』上演 梅若会 05.1.9

勝 木 言一郎 KATSUKI Gen'ichiro (美術部)

- (4 報告) 中国壁画研究会の開催 『TOBUNKENNEWS』No.17 p. 4-5 04.6
- (4 解説) 不空羼索観音二神将像 (大英博物館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成 16 年度 (絵画/工芸品)』 p.42 東京文化財研究所 05.3
- (5 学会発表) 仏教図像の生命誌—阿弥陀浄土図の受容— 韓国・中国史學會第 5 回國際學術大會『通過中國美術看中國歴史』 嶺南大學校 04.10.8
- (6 発表) 敦煌壁画に見る觀経變相未生怨図について 美術部研究会 東京文化財研究所 04.12.22

加 藤 寛 KATO Hiroshi (修復技術部)

- (3 論文) 蒔絵手板の紫外線照射試験 (星恵理子、加藤寛、神谷嘉美) 『伝統的修復材料に関する調査研究Ⅲ』 pp.25-29 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 福島県梁川町出土の漆絵碗・皿について 『梁川町文化財調査報告書第 19 集茶臼山北遺跡—梁川城下侍屋敷跡—』 pp.142-146 福島県梁川町教育委員会 05.3
- (3 論文) 漆芸の秘術を解き明かす 『文化財の保存と修復⑥』 pp.67-78 クバプロ 04.6
- (3 論文) 建築と漆 『修復の手帳』 pp.56-57 (財)文化財建造物保存技術協会 04.10
- (3 論文) 伝統と保存修復 『伝統と文化』28 pp.48-49 04.11
- (3 論文) Traditional Urushi Coating Material and Its Future, *The 27th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property – The Role of Urushi in International Exchange*, pp.127-133 東京文化財研究所 05.3
- (7 所属学会) 美術史学会、漆工史学会、文化財保存修復学会、アジアソサイエティ
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学教授 (連携併任)

加 藤 雅 人 KATO Masato (修復技術部)

- (2 報告) A Novel Method of Analyzing Laid-lines of Paper (Masato KATO, Tetsuo SHOJI, Kenji MURAYAMA, Yoshihiro OKADA, Kazuyuki ENAMI, Kazuhiko IKEDA and Masayuki SAKATA), *Research report in the 2003, Digital Archives Research Center, Ryukoku University*, pp.50-55 龍谷大学 04.6
- (2 報告) Trace Elements in Paper -Database for Classifying Old Manuscripts- (Masachika KOHNO, Jitsuya TAKADA, Kazuyuki ENAMI and Masato KATO), *Research report in the 2003, Digital Archives Research Center, Ryukoku University*, pp.60-66 龍谷大学 04.6
- (5 学会発表) 江戸末～明治期の浮世絵 版木の彩色に用いられた石黄について (加藤雅人、河野益近、江南和幸) 日本文化財科学会第 21 回大会 立命館大学 04.5.15-16
- (5 学会発表) 強制劣化処理を用いた補修紙の作成法 I (小島<田村>孝江、加藤雅人、藤岡春樹、浅田雅司、江南和幸) 文化財保存修復学会第 26 回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (6 講演) 科学分析手法が写本研究においてもつ可能性 京都国立博物館国際シンポジウム 21 世紀の敦煌学—写本研究の展望— 国立京都国際会館 04.11.13
- (6 講演) 紙への科学的アプローチ～紙の性質～ Asia Paper Forum 第 4 回 龍谷大学瀬田学舎 04.5.29
- (6 講演) 紙への科学的アプローチ～紙の分析～ Asia Paper Forum 第 5 回 龍谷大学瀬田学舎 04.8.21
- (6 講演) 古文書料紙への科学的アプローチ Asia Paper Forum 第 2 回オープン大会 古文書料紙に迫る～古文書料紙への様々なアプローチ～ 京都市勧業館みやこめっせ 04.11.20
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会、繊維学会、木材学会

鎌倉 恵子 KAMAKURA Keiko (芸能部)

- (3 論文) 人形浄瑠璃『勸進帳』諸本の比較研究—詞章を中心に— 『芸能の科学』 32 pp.93-110 05.3
- (5 監修) 2005年は歌舞伎だ! 『暮らしの風』 1 pp.2-7 朝日新聞社 05.1
- (6 発表) 人形浄瑠璃の変遷 芸能部夏期学術講座 東京文化財研究所セミナー室 04.7.12-14
- (6 発表) 人形浄瑠璃 近現代の変遷をめぐって—詞章と首— 東京文化財研究所総合研究会 東京文化財研究所セミナー室 04.11.2
- (7 所属学会) 楽劇学会、日本演劇学会、日本近世文学会
- (7 委員会) 文部科学省教育映画等審査委員 独立行政法人日本芸術文化振興会国立劇場歌舞伎公演専門委員 独立行政法人日本芸術文化振興会文化デジタルライブラリーコンテンツ選考委員会委員 園田学園近松研究所客員研究員

川野邊 渉 KAWANOBE Wataru (修復技術部)

- (2 報告書) 『鉄道の保存と修復Ⅱ』 東京文化財研究所 05.3
- (2 報告書) 『Conservation of Railway I』 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 文化財としての鉄道関連施設の修復と保存 『鉄道の保存と修復Ⅱ』 pp.6-14 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) Restoration of Rolling Stock and their Conservation and Utilization, *Conservation of Railways*, pp.28-33 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) Conservation and Restoration of the Railway Heritage as Seen at German and British Museums - Study Trips to Three Museums in York, Berlin and Munich -, *Conservation of Railway I*, pp.112-121 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 磨崖仏における生物制御の試み 『韓日共同研究報告書 2004』 pp.13-24 大韓民国文化財庁・国立文化財研究所/東京文化財研究所 05.2
- (3 論文) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 『保存科学』 44 pp.149-156 05.3
- (5 学会発表) 文化財修復材料としてのフノリ抽出物の特性(早川典子、荒木臣紀、貝沼諭、田畔徳一、川野邊渉) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 05.6.13
- (5 学会発表) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 05.5.16
- (6 発表) 文化財としての大型建造物の保存修復について 第16回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「大型建造物の保存修復と活用—ヨーロッパにおける事例」 東京文化財研究所 04.11.17
- (6 発表) 石質文化財における生物制御の試み 韓日共同研究発表会 大韓民国国立文化財研究所講堂 05.2.24
- (6 講義) 接着の科学 第2回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 東京文化財研究所 04.10.29
- (6 講義) 修復のための合成樹脂 第2回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 東京文化財研究所 04.10.29
- (6 講義) 新しい修復材料 平成16年度文化財建造物修理主任技術者講習会 財団法人文化財建造物保存技術協会 研修・資料センター 04.8.31
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会、IIC、IIC-Japan
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学助教授(連携併任)

木川りか KIGAWA Rika (保存科学部)

- (1 公刊図書) 第5章生物 『文化財保存環境学』(三浦定俊、佐野千絵、木川りか) 朝倉書店 04.12
- (1 公刊図書) 佐野千絵、木川りか、山野勝次編 『文化財の生物被害防止ガイド』 クバプロ 04.07
- (1 公刊図書) 文化財の生物被害防止のための日常管理(三浦定俊、木川りか、佐野千絵、山野勝次) 『文化財害虫事典 総論 2004年改訂版』 04.4
- (1 公刊図書) 臭化メチル燻蒸代替法をめぐる文化財の加害生物防除法について(木川りか、山野勝次、三浦定俊) 『文化財害虫事典 総論 2004年改訂版』 04.4

- (1 公刊図書) 四 壁画に関する科学的調査 高松塚古墳の微生物調査概要 (木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 中央公論美術出版 04.6
- (2 報告) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿弥陀如来坐像 台座、光背および像内納入品 月輪の害虫処理報告—二酸化炭素処置と低酸素濃度処置— (佐野千絵、木川りか、木村広、村林茂、石崎武志、三浦定俊) 『平等院紀要』2 05.3
- (3 論文) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について (木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 『保存科学』44 pp.149-156 05.3
- (3 論文) カミキリムシに食害された竹製品の低温処置による殺虫事例 (木川りか、大下芳博) 『保存科学』44 pp.43-48 05.3
- (3 論文) キトラ古墳の前室および石室における菌類調査報告 (木川りか、佐野千絵、間瀬創、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.165-172 05.3
- (3 論文) 高濃度二酸化炭素ガス中における木材のひずみの測定 (犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』44 pp.49-56 05.3
- (3 論文) 平等院 国宝木造阿弥陀如来坐像 台座、光背および月輪の害虫処理—二酸化炭素処理・低酸素濃度処理仕様と実施上の注意— (佐野千絵、木川りか、青木繁夫、犬塚将英、石崎武志、三浦定俊) 『文化財保存修復学会誌』49 05.3
- (3 論文) 文化財展示収蔵環境における IPM プログラム:状況と対策の段階的モデル (木川りか、Tom Strang) 『文化財保存修復学会誌』49 05.3
- (4 解説) 博物館等におけるカビのコントロール (佐野千絵、木川りか) 『文化財の虫菌害』48 pp.3-14 04.12
- (4 解説) IPM ワークショップ 2004 について 『文化財の虫菌害』48 pp.31-34 04.12
- (5 学会発表) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について (木川りか、早川典子、山本紀子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 日本文化財科学会第 21 回大会 立命館大学 04.5.15-16
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究—高松塚古墳の微生物— (木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第 26 回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (6 講演) 文化財保存における IPM 第 26 回文化財 (書籍・古文書等を含む) 虫菌害保存対策研修会 (財) 文化財虫菌研究所 04.7.2
- (6 講演) IPM の理論的なまとめと個々の対処法 愛知県博物館等職員研修会 ウェルサンピア岡崎 04.11.4
- (6 講義) IPM ワークショップ 2004 担当講師 (Tom Strang、木川りか) 東京文化財研究所、国立歴史民俗博物館 03.10.12-14
- (6 講義) 公文書館等の有害生物管理 平成 16 年度公文書館専門職員養成課程 独立行政法人国立公文書館 01.11.18
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本防菌防黴学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、IIC-Japan、The Society for the Preservation of Natural History Collections (SPNHC)
- (7 委員会) 国宝高松塚古墳壁画恒久対策検討会ワーキンググループ委員、国立歴史民俗博物館資料保存環境検討委員会委員
- (8 教育) 国立民族学博物館共同研究員

朽津 信明 KUCHITSU Nobuaki (国際文化財保存修復協力センター)

- (3 論文) Equotip Hardness for Weathered Surface Layer of Tuffaceous Sandstone at “Yagura” Artificial Caves in Kamakura City (Yukinori Matsukura, Hisashi Aoki, Tsuyoshi Hattannji and Nobuaki Kuchitsu), *Ann.Rep.,Inst.Geosci.,Univ.Tsukuba*, 30, pp.27-32, 04.12.
- (3 論文) 文化財材料としての煉瓦の劣化 『マテリアルライフ学会誌』17 pp.7-11 05.1
- (3 論文) 福山市周辺地域の漆喰使用古墳について 『考古学と自然科学』51 pp.11-18 05.3
- (3 論文) 鎌倉市八百やぐらの保存を目的とした亀裂計測 (朽津信明、李心賢、関博充、森井順之) 『保存科学』44 pp.109-116 05.3

- (3 論文) 文化財の強度測定法と風化度合いの定量化について (朽津信明、李心賢、関博充) 『保存科学』 44 pp.117-126 05.3
- (3 論文) 土壁の水分吸収・放出に関する基礎的研究 (朽津信明、森井順之) 『保存科学』 44 pp.103-108 05.3
- (3 論文) 群馬県山王廃寺出土塑像の顔料について (岡部央、朽津信明、前原豊、前尾修司、齋木一敏) 『群馬県立歴史博物館紀要』 26 pp.11-57 05.3
- (3 論文) A Trial to Prevent a Brick Monument from Salt Weathering (Nobuaki Kuchitsu and Tadateru Nishiura, *Conservation of Monuments in Thailand*, III, pp.66-75, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 05.3.
- (3 論文) Aged Shape Determination Visualization Based upon 3D Shape Measurement –Observing Brick Wall in Ayutthaya Relic- (Tomohito Masuda, Nobuaki Kuchitsu, Yosuke Yamada and Katsushi Ikeuchi) , *Conservation of Monuments in Thailand*, III, pp.29-34, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 05.3.
- (3 論文) 若杉五十八の作品に用いられている顔料の特徴について—特に青色顔料の同定から— 『神戸市立博物館研究紀要』 21 pp.77-82 05.3
- (3 論文) 三次元計測データによるフゴッペ洞窟内の自然光入射のシミュレーション (増田智仁、山田陽介、朽津信明、池内克史) 『日本バーチャルリアリティ学会論文誌』 10 pp.81-90 05.3
- (3 報告) 海戦図の使用顔料について 『モノづくりの源流—TOYOTA COLLECTION』 pp.219-233 トヨタ自動車 (株) 05.3
- (3 報告) 八幡中学校遺跡の赤色顔料について 『八幡中学校遺跡』 pp.28-31 玖珠町教育委員会 05.3
- (5 学会発表) 装飾古墳に用いられた赤色顔料について 日本文化財科学会第 21 回大会 立命館大学 04.5.15,16
- (5 学会発表) 三次元計測に基づくフゴッペ洞窟への光の差し込みのシミュレーション (朽津信明、増田智仁、山田陽介、池内克史) 日本文化財科学会第 21 回大会 立命館大学 04.5.16
- (5 学会発表) 開国以前に用いられたウルトラマリンブルー 文化財保存修復学会第 26 回大会 奈良大学 04.6.12
- (5 学会発表) 三次元計測データに基づく学術調査・シミュレーション—フゴッペ洞窟の光源環境に関して— (山田陽介、増田智仁、朽津信明、池内克史) 日本バーチャルリアリティ学会第 9 回大会 京都大学 04.9.08
- (5 学会発表) 碓氷峠鉄道施設における煉瓦の塩類風化と凍結破碎の比較 (朽津信明、森井順之) 日本地質学会第 111 年年会 千葉大学 04.9.19
- (5 学会発表) 鎌倉市百八やぐらの保存を目的とした亀裂 (朽津信明、森井順之、李心賢、関博充) 日本応用地質学会平成 16 年度研究発表会 新潟ユニゾンプラザ 04.10.28
- (5 学会発表) Sunlight Illumination Simulation for Archaeological Investigatio-Case Study of the Fugoppe Cave- (T.Masuda, Y.Yamada, N.Kuchitsu, K.Ikeuchi) 10th International Conference on Virtual Systems and MultiMedia (VSMM) 大垣市情報工房 (ソフトピアジャパン・アネックス) 04.11.19
- (5 学会発表) Aged Shape Determination Visualization Based upon 3D Shape Measurement –Observing Brick Wall in Ayutthaya Relic- (Tomohito Masuda, Nobuaki Kuchitsu, Yosuke Yamada and Katsushi Ikeuchi) , National Archives of Thailand, 04.12.13.
- (5 学会発表) A Trial to Prevent a Brick Monument from Salt Weathering (Nobuaki Kuchitsu and Tadateru Nishiura), National Archives of Thailand, 04.12.14.
- (5 学会発表) Sunlight Illumination Simulation of Fugoppe Cave Based on 3D Measurement, International Symposium on the CREST Digital Archiving Project, Research Center for Advanced Science and Technology Institute of Industrial Science, the University of Tokyo, 05.3.8.
- (6 講演) 顔料の分析法 奈良大学文化財学科講演 奈良大学 04.6.23
- (6 講演) 顔料分析の考え方 吉備国際大学特別講演会 吉備国際大学 04.11.15
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、国際文化財保存学会、日本文化財科学会、日本地質学会、日本応用地質学会、日本地形学連合、日本第四紀学会
- (7 委員会) 弁慶ヶ穴古墳保存整備検討委員

佐野千絵 SANO Chie (保存科学部)

- (1 公刊図書) 第4章空気汚染(三浦定俊、佐野千絵、木川りか) 『文化財保存環境学』 朝倉書店 04.12
- (1 公刊図書) 佐野千絵、木川りか、山野勝次編『文化財の生物被害防止ガイド』 クバプロ 04.07
- (1 公刊図書) 文化財の生物被害防止のための日常管理(三浦定俊、木川りか、佐野千絵、山野勝次) 『文化財害虫事典 総論2004年改訂版』 04.4
- (1 公刊図書) 四. 壁画に関する科学的調査 高松塚古墳石室内温湿度測定結果(石崎武志、佐野千絵、三浦定俊) 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 中央公論美術出版 04.6
- (1 公刊図書) 四. 壁画に関する科学的調査 高松塚古墳の微生物調査概要(木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 中央公論美術出版 04.6
- (1 公刊図書) 五. 壁画の新光学的調査について 高松塚古墳壁画の顔料調査(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 中央公論美術出版 04.6
- (2 報告) キトラ古墳開封前の石室内空気環境調査報告(佐野千絵、間渕創、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.157-164 05.3
- (2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告—平成15年度—(石崎武志、佐野千絵) 『保存科学』44 pp.173-177 05.3
- (2 報告) 平等院鳳凰堂 国宝木造阿弥陀如来坐像 台座、光背および像内納入品 月輪の害虫処理報告—二酸化炭素処置と低酸素濃度処置—(佐野千絵、木川りか、木村広、村林茂、石崎武志、三浦定俊) 『平等院紀要』2 05.3
- (3 論文) 印刷インキに用いられる有機赤色顔料への室内汚染ガスの影響(森克之、佐野千絵) 『保存科学』44 pp.65-72 05.3
- (3 論文) 日本画用画材に対する酸性溶液・アルカリ性溶液およびホルマリンの影響(佐野千絵、福岡葉子、大野彩) 『保存科学』44 pp.57-64 05.3
- (3 論文) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木 繁夫) 『保存科学』44 pp.149-156 05.3
- (3 論文) 高濃度二酸化炭素ガス中における木材のひずみの測定(犬塚将英、木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』44 pp.49-56 05.3
- (3 論文) 平等院 国宝木造阿弥陀如来坐像 台座、光背および月輪の害虫処理—二酸化炭素処理・低酸素濃度処理仕様と実施上の注意—(佐野千絵、木川りか、青木繁夫、犬塚将英、石崎武志、三浦定俊) 『文化財保存修復学会誌』49 05.3
- (4 解説) 博物館等におけるカビのコントロール(佐野千絵、木川りか) 『文化財の虫菌害』48 pp.3-14 04.12
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究—浮遊菌・付着菌から見た微生物制御(佐野千絵、間渕創、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究—ハンディ蛍光 X 線分析装置による壁画顔料の分析—(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学、04.6.12-13
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究—高松塚古墳の微生物—(木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) フレスコ画制作に関する材料学的考察—粒度分布から見たピアンコ・サン・ジョヴァンニ(大野彩、佐野千絵) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) カビによる Foxing の形成と紙に与える影響(渡辺優子、佐野千絵) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 漆喰の硬化過程—硬化速度に対するすさ・のりの影響(稲葉治美、大野彩、佐野千絵、石崎武志) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 臭化メチル製剤燻蒸後の資料への臭素残留について(間渕創、佐野千絵) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本紀子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 04.5.16

(6 講演) カビのモニタリングの動向と今後の方向性 第 26 回文化財虫菌害保存対策研修会 文化財虫害研究所
04.7.2

(6 講演) 国指定史跡等の保存管理 漆を科学する会講演会 東京 04.7.2

(6 講演) 文化財の保存環境—文化財保護・芸術文化— 平成 16 年度社会教育主事講習 東京 2004.8.9

(6 講演) 文化財の保存と環境—特に収蔵庫環境について 阪神間博物館協議会 伊丹市美術館 04.11.11

(6 講演) 文化財の生物被害防止と保存環境 近代美術館歴史博物館研修 京都近代美術館 05.02.24

(6 講演) 文化財修理における殺虫殺菌処置 奈良国立博物館修理所セミナー 奈良国立博物館 05.02.25

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本化学会、高分子学会、照明学会、室内環境学会、大気環境学会、繊維学会、マテリアルライフ学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、International Council of Museums (ICOM)、IIC-Japan (庶務幹事)

(7 委員会) 群馬県文化財保護審議会委員、千葉県文化財保護審議会委員、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会ワーキンググループ委員、宗家文庫資料等保存施設計画策定委員会委員、文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会委員

(8 教育) 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学助教授 (連携併任)

Ⅲ 井 舞 SARAI Mai (協力調整官—情報調整室)

(1 共著) 覚禅鈔研究会編『覚禅鈔の研究』 pp.205-229 親王院堯榮文庫 04.12

(6 発表) 敦煌莫高窟第 53 窟 彩色技法に関する報告 敦煌中央研究院保護研究所会議室 04.7.16

(7 所属学会) 美術史学会、美学会

(8 教育) 愛知県立大学日本文化史学科非常勤講師

(8 展示) 紅白梅図屏風に関する文献資料 東京文化財研究所 04.12.25～

(8 展示) 国宝十一面観音菩薩坐像に関する共同研究の一環としての画像展示 奈良国立博物館 05.3.22～

塩 谷 純 SHIOYA Jun (美術部)

(2 報告) 山種美術館賞、安井賞、そして… 「日本画」シンポジウム記録集編集委員会『「日本画」—内と外のあいだで』 pp.44-51 ブリュック 04.5

(3 論文) 仰ぐ富士、登る富士—近・現代美術にみる 『美 JAPAN 富士山』 pp.329-347 四季出版 05.3

(3 論文) 再興日本美術院のひとびと—あるいは大正期の大観 『大正期美術展覧会の研究』 pp.55-72 中央公論美術出版 05.3

(4 時評) 2003 年の歴史学界—回顧と展望 『史学雑誌』 113-5 pp.201-204 04.5

(4 解説) 速水御舟《幼児像素描》 『美術研究』 384 pp.44-47 04.11

(4 解説) 竹内栖鳳《富士》、加山又造《青富士》作品解説 『美 JAPAN 富士山』 p.124, p.186 四季出版 05.3

(6 発表) 再興日本美術院のひとびと—あるいは大正期の大観 美術部研究会 東京文化財研究所 04.6.29

(7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会

城 野 誠 治 SHIRONO Seiji (協力調整官—情報調整室)

(3 論文) 可視域内励起光を用いた蛍光反応による物質の識別法 『月刊文化財』 487 pp.9-12 04.4

(3 論文) 壁画の画像形成について 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』 pp.17-19 中央公論美術出版 04.6

(3 論文) 褪色画像の可視化、そのデジタル画像の保存について 『平成 16 年度画像保存セミナー』 pp.14-17 日本写真学会 04.10

(3 論文) 近赤外線蛍光画像で見る文化財 『第 20 回記念非破壊計測シンポジウム』 日本食品科学工学会 pp.105-108 04.11

(3 論文) 国宝紅白梅図屏風の画像制作について 『国宝 紅白梅図屏風』 pp.167-172 中央公論美術出版 05.3

(4 画像形成) 国宝仏涅槃図(応徳涅槃図)の光学的調査結果による高精細大型画像展示 東京国立博物館平成館 1 階ロビー 04.4.6-5.16

(4 画像形成) 黒田清輝作品の光学的調査結果による高精細大型画像展示 黒田記念館 04.6.10-11.7

- (4 画像形成) 国宝紅白梅図屏風の画像パネル展示 東京文化財研究所 1階エントランス 04.12.25～
- (4 画像形成) 国宝十一面観音像の光学的調査結果による高精細大型画像展示 奈良国立博物館第3館地下 04.3.18～
- (5 学会発表) 高松塚古墳の画像形成 第28回文化財の保存・修復に関する国際研究集会「文化財の非破壊調査法—X線分析の最前線—」 東京都美術館 04.12.2
- (6 発表) 画像から絵画表現の深層をさぐる 『絵画表現の深層を探る—国宝仏涅槃図(応徳涅槃図)の光学的調査—』調査報告座談会 東京国立博物館平成館 04.5.8
- (6 発表) 2004年度彩色技法調査報告(報告会) 敦煌研究院保護研究所会議室 04.7.16
- (6 発表) 懐素自叙帖の画像形成について 懐素自叙帖調査報告会 国立故宮博物院(台北) 04.10.20
- (6 発表) 近赤外線蛍光画像で見る文化財 第20回記念非破壊計測シンポジウム 文部科学省研究交流センター 04.11.26
- (6 講演) 褪色画像の可視化、そのデジタル画像の保存について 平成16年度画像保存セミナー 東京工芸大学芸術情報館 04.10.22
- (6 講演) 文化財画像について 第2回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 東京文化財研究所 04.10.28
- 文化財の画像について 装飾師連盟小研修会 京都国立博物館 05.1.15
- (7 所属学会) 社団法人日本写真家協会、日本写真家ユニオン、社団法人日本写真学会、日本写真芸術学会、日本法科学技術学会
- (8 新聞、テレビ出演) 国宝「仏涅槃図」の消えた文様見えた 朝日新聞 04.5.15
- (8 新聞、テレビ出演) 色あせぬ輝き 高松塚壁画 朝日新聞東京本社第2版夕刊 04.6.15
- (8 新聞、テレビ出演) 顔 読売新聞 04.7.1
- (8 新聞、テレビ出演) 科学の審美眼—東文研の試み 中 朝日新聞 04.8.23
- (8 新聞、テレビ出演) サイエンスZERO 画像解析で壁画の謎に迫れ 日本放送協会 04.9.25
- (8 新聞、テレビ出演) 光を読み、見えないものを写すデジタル画像取得技術「東京文化財研究所」 大日本印刷—アートスケープ 04.11
- (8 新聞、テレビ出演) サイエンスZERO スペシャル 最先端技術で考古学の謎に迫る 日本放送協会 04.11.20
- (8 集中講義) 視聴覚教育 愛知教育大学 04.8.28-29、04.9.4-5

鈴木規夫 SUZUKI Norio (所長)

- (2 報告) 日本の文化財行政における無形文化財保護制度について 『国際シンポジウム「2004ACCU アジア太平洋地域無形文化遺産振興会議」報告書』 pp.46-51 04.5
- (2 報告) On the Concept of the Restoration and Reproduction of Cultural Properties in Japan, *The 27th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property – The Role of Urushi in International Exchange*, pp.96-103 東京文化財研究所 05.3
- (4 解説) 漆芸品の創作と修理・復元模造 『現代の百工比照シリーズ3『螺鈿(らでん)』—人間国宝北村昭斎のわざ—』展図録 pp.74-75 石川県輪島漆芸美術館 04.9
- (4 解説) 天蓋と幢幡 『禅の風』No.28 pp.78-79 04.6
- (4 解説) 弥勒菩薩像 『日本彫刻史基礎資料集成—鎌倉時代造像銘記篇』第3巻 pp.207-212 中央公論美術出版 05.3
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、漆工史学会
- (7 委員会) 文化審議会文化財分科会第一専門調査会、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会、特別史跡キトラ古墳の保存・活用等に関する調査研究委員会、文化財(美術工芸品)の修理に関する検討会、仏教工芸品に関する懇談会、財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事業運営審議会、財団法人文化財保護・芸術研究助成財団事業委員会、日本博物館協会評議会、シルクロード学研究センター研究評議会、山梨県文化財保護審議会、『日本の美術』監修会議
- (8 教育) 東京芸術大学非常勤講師

鈴木 廣之 SUZUKI Hiroyuki (美術部)

- (3 論文) 研究ノート 一八七九年のW・アンダーソン「日本美術の歴史」 『美術研究』 383 pp.51-54 04.8
- (3 論文) 文化財保護と博物館 『美術フォーラム 21』 12 pp.32-37 05.2
- (4 解説) 伝狩野山楽筆四季耕作図(ミネアポリス美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成 16 年度(絵画/工芸品)』 p.61 東京文化財研究所 04.3
- (4 解説) 本阿弥光悦書宗達筆鹿下絵和歌巻(シアトル美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成 16 年度(絵画/工芸品)』 p.110 東京文化財研究所 04.3
- (4 解説) 芭蕉図屏風(ホノルル美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成 16 年度(絵画/工芸品)』 p.124 東京文化財研究所 04.3
- (6 発表) 明治期府県博覧会について 美術部研究会 東京文化財研究所 04.5.26
- (7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会、文化資源学会(理事)

高 桑 いづみ TAKAKUWA Izumi (芸能部)

- (3 論文) 謡の旋律をさかのぼる 『21 世紀の音楽』 4 pp.32-39 教育芸術社 04.4
- (3 論文) 昔語りをする老女 『鍔仙』 523 pp.4-5 04.4.9
- (3 論文) 能の所作をささえる「隙」と音 『21 世紀の音楽』 5 pp.32-39 教育芸術社 04.9
- (3 論文) 風流能と大ノリ謡 『鍔仙』 531 pp.3-4 05.2.18
- (3 論文) 調査報告:各地に伝承された横笛(高桑いづみ、野川美穂子) 『芸能の科学』 32 pp.41-70 05.3
- (3 論文) 絵空事の合奏 『芸能の科学』 32 pp.71-91 05.3
- (3 論文) 能を中心とした室町時代の読み物・覚書 『楽劇学』 12 pp.99-105 05.3
- (4 解説) 能狂言鑑賞入門 『日本の伝統芸能』 pp.109-139 日本放送出版協会 04.4
- (4 エッセイ) 世阿弥の時代と現代 「TTR 能プロジェクト」パンフレット 04.8
- (4 エッセイ) 乱声で登場した役は乱声で退場する—横道先生へのオマージュ— 能楽観世座第 4 回公演パンフレット pp.12-13 04.12.25
- (5 解説) 生ひにけらしな、老いにけるぞや—「深井」が見せる「井筒」の世界— 能楽観世座第 2 回公演パンフレット pp.4-5 04.7.1
- (5 学会発表) 能を中心とした室町時代の読み物 楽劇学会第 12 回大会 矢来能楽堂 04.6.19
- (5 学会発表) 能楽鼓胴の形態・制作時期についての一考察 東洋音楽学会第 55 回大会 東京文化財研究所 04.10.24
- (5 学会発表) 現存する一節切・調査報告(高桑いづみ、野川美穂子) 東洋音楽学会東日本支部第 17 回定例研究会 東京文化財研究所 05.02.26
- (7 所属学会) 東洋音楽学会(理事) 能楽学会 芸能史研究会 楽劇学会(理事)
- (8 テレビ出演) 能・狂言鑑賞入門 NHK教育テレビ日本の古典芸能鑑賞入門 04.6-05.2
- (8 テレビ出演) 秀吉の見た能 放送大学特別講座 04.4~
- (8 教育) 東京芸術大学音楽学部非常勤講師
- (8 委員) 文化庁本物の舞台芸術体験事業企画委員

田 中 淳 TANAKA Atsushi (美術部)

- (3 論文) ご縁ですね—佐賀県と青木繁 『高取伊好と青木繁』展図録 多久市郷土資料館 pp.23-26 04.5
- (3 論文) 人見東明とフェウザン会の画家たち 『人見東明とフェウザン会絵画運動』展図録 昭和女子大学光葉博物館 pp.7-13 04.10
- (3 論文) 《海の幸》誕生まで 東京文化財研究所・石橋財団石橋美術館編『美術研究作品資料 第 3 冊 青木繁《海の幸》』 pp.42-51 東京文化財研究所 05.3
- (3 論文) 序論 「おわり」と「はじまり」—夏目漱石「文展の芸術」をめぐって 東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』 pp.3-21 東京文化財研究所 05.3

- (3 批評) 国吉康雄展 アメリカに生きた画家の「いのち」の表現 『赤旗』 04.4.20
- (4 解説・編集) デジタル画像体験 黒田清輝の目—風景・からだ・顔 東京文化財研究所 04.6
- (4 解説) 黒田記念館 『週刊朝日百科 日本の美術館を楽しむ』 13 05.1.16
- (6 講演) 山下新太郎とその時代 土曜講座 ブリヂストン美術館 04.4.10
- (6 講演) 黒田清輝研究の現在 『近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展』 記念講演会 新潟県立近代美術館 04.4.24
- (6 講演) 佐賀県と青木繁 『高取伊好と青木繁展』 記念講演会 多久市郷土資料館 04.5.22
- (6 発表) モノの価格とコレクションの形成 美術部研究会 東京文化財研究所 04.7.28
- (6 講演) 昭和前期の絵画 『牛島憲之と昭和前期の絵画』 展記念講演会 府中市美術館 04.10.10
- (6 講演) 人見東明とフェウザン会の画家たち 第10回女性教養講座 昭和女子大学 04.10.30
- (6 講演) 明治30年の黒田清輝 第38回美術部オープンレクチャー 東京文化財研究所 04.11.6
- (6 発表) 青木繁「海の幸」誕生 美術部研究会 東京文化財研究所 04.11.24
- (7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会
- (8 教育等) 東京学芸大学非常勤講師

谷 口 陽 子 TANIGUCHI Yoko (特別研究員)

(2 報告) Conservation Proposal (Yoko Taniguchi, Shiego Aoki), *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*, pp.76-98, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.

(3 論文) マルタにおける臨海環境のもたらす石造文化財への影響について：巨石神殿遺跡ハジャール・イムを中心に 『海と考古学』 7 pp.1-14 04.4

(3 論文) 敦煌莫高窟 53 窟仏龕周辺における土壁中の可溶性塩類について (谷口陽子、森井順之、陳港泉、蘇伯民) 『保存科学』 44 pp.127-134 05.3

(4 解説) マルタの壁画と彩色石造文化財の保存 『歴博』 123 pp.15-19 04.3

(4 解説) 地中海の島に残された世界最古の石造建造物 『ニュートンムック 世界遺産謎を呼ぶ遺跡：いまだに解明されない古代遺跡のミステリー』 pp.110-119 ニュートンプレス 05.3

(5 学会発表) シュウ酸アンモニウムによるグロビジュリーナ石灰岩製石造文化財の表面処理：処理後の評価 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12

(5 学会発表) 不浸透性材料によって彩色された近代石造文化財からの塩類除去の試み (谷口陽子、Joanna M. Hili, Roberta De Angelis) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12

(6 発表) Conservation of Globigerina Limestone Monument in Malta: Surface Protective Treatment with Ammonium Oxalate (Yoko Taniguchi, Yoshiko Shimadzu, Ioanna Kakoulli and Sabino Giovannoni) 石灰岩保存修復に関する研究会 西安文物保護修復センター 05.3.2

(7 所属学会) The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、International Council of Museums (ICOM)、文化財保存修復学会

田 村 守 TAMURA Mamoru (客員研究員)

(3 論文) Experimental Evidence of Distance-dependent Diffusion Coefficients of a Globular Protein Observed in Polymer Aqueous Solution Forming a Network Structure on Nanometer Scale (A. Masuda, K. Ushida, G. Nishimura, M. Kinjo, M. Tamura, H. Koshino, K. Yamashita and T. Kluge), *The Journal of Chemical Physics*, 121(21), pp.10787-10793, 04.12.

(5 学会発表) 脳機能を光で探る—現状と展望 第81回日本生理学会大会 札幌コンベンションセンター 04.6.2-4

(5 学会発表) 臨床現場における光イメージング 第25回日本レーザー医学会総会 ホテルオークラ東京 04.11.11-12.

(6 発表) 生体分光光学と分子イメージング—現状と未来 分子科学研究所研究会「生体分光光学と分子イメージングの最前線」 岡崎コンファレンスセンター 05.1.17-18

(6 講演) ブレークスルーをめざして 生体医用光学ブレークスルーフォーラム—躍進する光— 光産業技術振興協会 05.1.19

(7 所属学会) 医用近赤外分光法研究会、酸素ダイナミクス研究会、日本生物物理学会

津田 徹 英 TSUDA Tetsuei (美術部)

(3 論文) 親鸞晩年の聖徳太子観と東国真宗門徒の太子造像 『日本仏教総合研究』2 pp.33-48 04.5

(4 史料紹介) 美術史料紹介・東寺観智院金剛藏本(建武二年写)『諸説不同記』解題ならびに巻第三・遍知院 翻刻・校註・影印(浅沼桂子、佐竹行彦、高橋かおり、東條由紀、林彩子、原浩史、山中麻里子と共編) 『史友』37 pp.69-128 05.3

(4 年表) 古代・中世神像関連史年表 『別冊太陽 神像の美 すがたなきものの、かたち。』 pp.142-149 04.10

(4 解説) 十一面観音像(サンフランシスコ・アジア美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成16年度(絵画/工芸品)』 東京文化財研究所 pp.91 05.3

(5 シンポジウム発表) Images of Stars and their Significance in Japanese Esoteric Buddhism Art of the Heian period ロンドン大学 SOAS the Center for the Study of Japanese Religions 04.9.17

(6 発表) 日本の中世彫刻研究で用いられる「宋風」という言説をめぐるいくつかの問題について—最近の知見から— 美術部研究会 東京文化財研究所 03.4.28

(6 発表) 移動する仏像—兵庫・法恩寺菩薩坐像(中国・南宋時代)をめぐる二、三の知見— 総合研究会 東京文化財研究所 04.12.7

(6 講演) 中世の童子形と神—文字史料の残らない美術を読み解く— 中山道広重美術館 05.1.8

(7 所属学会) 美術史学会、美学会、密教図像学会、日本宗教文化史学会、日本仏教総合研究学会

(8 教育) 青山学院大学史学科非常勤講師

友田 正彦 TOMODA Masahiko (調査員)

(6 発表) Joint Research for Conservation of Ta Nei between APSARA and National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo - Preliminary Report of Experiments on Stone Cleaning, the 9th Bayon Symposium, UNESCO/JSA, Siem Reap, 05.12.13-14.

(7 所属学会) 日本 ICOMOS 国内委員会

(8 教育) 早稲田大学理工学総合研究センター客員研究員

中野 照男 NAKANO Teruo (美術部)

(3 論文) 山岳信仰の美術 熊野 『日本の美術』465 pp.1-80 05.2

(3 論文) 序 —尾高鮮之助について— 『東京文化財研究所蔵書目録4 日本東洋古美術関係 欧文篇』 東京文化財研究所 pp.12-13 04.6

(3 論文) 中国・クムトラ千仏洞保存修復事業と地盤工学的課題(中澤重一、沢田正昭、矢野和之、中野照男、黄克忠、王金華) 『地盤工学会誌』53-3 pp.33-35 05.3

(3 論文) 作品解説(臺信祐爾、中野照男) 平成14~16年度科学研究費補助金・基盤研究(B)『大谷探検隊将来西域壁画の保存に関する総合研究』報告書(課題番号14380052、研究代表者青木繁夫) pp.97-103 05.3

(6 発表) Determination of Wall Paintings Based on Photographic Images (Taken from Mogao Cave 53 and 260) (Nakano Teruo and Shirono Seiji), Conservation of Ancient Sites on the Silk Road, Second International Conference on the Conservation of Grotto Sites, The Dunhuang Academy, 04.7.2

(7 所属学会) 美術史学会、九州藝術学会

(8 教育等) 千葉県四街道市文化財審議委員

西山 伸一 NISHIYAMA Shin'ichi (特別研究員)

(2 報告) Geographical Background of the Bamiyan (Shin'ichi Nishiyama and Shumpei Iwai), *Protecting the*

World Heritage Site of Bamiyan, pp. 1 1 – 1 5, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.

(2 報告) INSTAP report on the Orontes Delta Survey, Turkey (with H. Pamir), Mustafa Kemal University, Hatay, 04.10.

(7 所属学会) 日本オリエント学会、日本西アジア考古学会、British Association for Near Eastern Archaeology

(8 教育) 早稲田大学第二文学部非常勤講師

野川 美穂子 NOGAWA Mihoko (調査員)

(3 論文) 調査報告・各地に伝承された横笛 (野川美穂子、高桑いづみ) 『芸能の科学』 32 pp. 41-70 05.3

(4 事典) 太鼓、浪花節ほか 『エンカルタ総合大百科 2005』 Microsoft 04.10

(4 解説) プログラム解説 賢順記念特別演奏会 石橋文化ホール 04.12.5

(4 解説) プログラム解説 高橋榮清の会 国立劇場小劇場 04.10.21

(4 解説) 『三代高橋榮清編 古曲集 CD付』 曲目解説 邦楽社 04.10

(4 解説) 縄文から変わらぬ日本人好みの音階 『望星』 420 pp.36-41 04.9.1

(4 解説) 邦楽「語り物」 『なごみ』 303 pp.86-92 05.3.1

(4 解説) 箏の弦名の「斗」「為」「巾」て何? 『邦楽ジャーナル』 213 pp.24-25 04.10.1

(4 解説) 「歌」「唄」「哥」使い分けがあるの? 『邦楽ジャーナル』 214 pp.24-25 04.11.1

(4 解説) 八橋検校、山田検校の「検校」って何? 『邦楽ジャーナル』 215 pp.26-27 04.12.1

(4 解説) 「琴」と「箏」は違うの? 『邦楽ジャーナル』 216 pp.24-25 05.1.1

(4 解説) 「段物」って、どんなもの? 『邦楽ジャーナル』 217 pp.14-15 05.2.1

(4 解説) どうして「三曲」って言うの? 『邦楽ジャーナル』 218 pp.16-17 05.3.1

(5 学会発表) 地歌の半太夫物について 東洋音楽学会第 55 回大会 東京文化財研究所 04.10.24

(5 学会発表) 現存する一節切・調査報告 (野川美穂子、高桑いづみ) 東洋音楽学会東日本支部第 17 回定例研究会 東京文化財研究所 05.2.26

(6 講演) 《紫式部》《宇治巡り》《四季の段》について 亀山香能 Talk & Live Vol.7 養福寺 04.4.24

(6 講演) 箏組歌《薄衣》について 山田流箏曲協会歌詞講座 弘済会館 04.7.5

(6 講演) 箏組歌《明石》について 山田流箏曲協会歌詞講座 弘済会館 04.11.15

(6 講演) 箏組歌《羽衣》について 山田流箏曲協会歌詞講座 弘済会館 05.3.7

(7 所属学会) 東洋音楽学会 (理事)、日本音楽学会、楽劇学会

(8 教育) 東京芸術大学非常勤講師、武蔵野音楽大学非常勤講師、東海大学非常勤講師

(8 委員) 文化庁新進芸術家海外留学・国内研修制度音楽分野選考委員、文化庁芸術祭音楽部門審査委員、芸術文化振興基金伝統芸能専門委員 第 11 回全国箏曲コンクール審査委員

野口 英雄 NOGUCHI Hideo (客員研究員)

(1 公刊図書等) (共著) 文化遺産の危機管理 『21 世紀初めに遺産を再建する』 (英仏語) pp.497-511 ソルボンヌ大学出版会 04.4

(2 報告書) ユネスコの役割と日本の貢献 『人類の歴史を護れ 戦中、戦後における文化遺産の保護と国際協力』 第 19 回「大学と科学」公開シンポジウム予稿集 pp.39-40 クバプロ 05.1

(2 報告書) Address and Explanations (日英語), *Urban Conservation World Heritage Cities in Latin America and Asia*, pp.18-23 東京文化財研究所 04.9

(2 報告書) Overall Discussions 1, Overall Discussions 2. *Proceedings of the Eleventh Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage. Public Systems for the Protection of Cultural Heritage: Organization, Human Resources and Financial Resources*, pp.284-310, 04.3.

(5 学会司会等) Eleventh Seminar on the Conservation of Asian Cultural Heritage. Public Systems for the Protection of Cultural Heritage: Organization, Human Resources and Financial Resources (第 13 回アジア文化財保存セミナー) 東京文化財研究所 04.10.25-28

(5 学会発表等) 枠組解説と総合共同司会 「ラテン・アメリカとアジアの世界遺産都市保存」(日英西語) 萩市・東京文化財研究所 04.9.28-30

(6 講演会、研究会発表) ユネスコの役割と日本の貢献 『人類の歴史を護れ 戦中、戦後における文化遺産の保護と国際協力』 第19回「大学と科学」公開シンポジウム 有楽町朝日ホール 05.1.22-23

(7 所属学会、委員会等) イコモス(国際記念物史跡協議会) 国際木造遺産専門委員、独立行政法人奈良文化財研究所アンコール遺跡保存委員会委員、ユネスコ、インターセクトラル・プロジェクト・アドバイザー

(8 教育等) 学習院女子大学・大学院国際文化交流研究科教授、都留文科大学大学院文学研究科比較文化専攻兼任教授、東京芸術大学大学院保存学専攻特別講義講師

早川典子 HAYAKAWA Noriko (修復技術部)

(2 報告) On Adhesive Materials for Restoration of Paper in Japan, *International Course on Japanese Paper Conservation 2004*, pp.63-68 東京文化財研究所 05.3

(3 論文) 事例報告: 彩色漆喰上の汚れ除去の試み(早川典子、山本記子) 『保存科学』44 pp.135-140 05.3

(3 論文) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 『保存科学』44 pp.149-156 05.3

(5 学会発表) 文化財修復材料としてのフノリ抽出物の特性(早川典子、荒木臣紀、貝沼諭、田畔徳一、川野邊渉)、文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 05.6.13

(5 学会発表) 遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について(木川りか、早川典子、山本記子、川野邊渉、佐野千絵、青木繁夫) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 05.5.16

(6 講義) On Adhesive Materials for Restoration of Paper in Japan 国際研修「紙の保存と修復」 東京文化財研究所 04.9.17

(7 所属学会) 高分子学会、日本応用糖質科学会、日本文化財科学会、文化財保存修復学会、マテリアルライフ学会(学会誌編集委員)、IIC

早川泰弘 HAYAKAWA Yasuhiro (保存科学部)

(2 報告) ポータブル蛍光X線分析による文化財の材質調査 『月刊文化財』487 pp.5-8 04.4

(3 論文) Portable XRF Analysis of Japanese Historical Objects, *Advances in X-ray Analysis*, 47, pp.36-41, 04.8.

(3 論文) 尾形光琳筆 紅白梅図屏風の蛍光X線分析(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊、内田篤呉) 『保存科学』44 pp.1-16 05.3

(3 論文) 紅白梅図屏風の蛍光X線分析 『国宝 紅白梅図屏風』 pp.175-182 中央公論美術出版 05.3

(5 学会発表) X線を用いた文化財の分析 第65回分析化学討論会 琉球大学 04.5.16

(5 学会発表) 東大寺八角灯籠の鉛同位体比(平尾良光、早川泰弘、鈴木浩子) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 04.5.15

(5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究1—ハンディ蛍光X線分析装置による壁画顔料の分析—(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12

(5 学会発表) Pigments Analysis of Mural Paintings by a Portable XRF, *Pittsburgh Conference 2005, Orlando*, 05.3.3.

(6 発表) 国宝「仏涅槃図」(金剛峯寺) —蛍光X線分析による顔料調査の知見— 絵画表現の深層を探る—国宝仏涅槃図(応徳涅槃図)の光学的調査— 東京国立博物館 04.5.8

(6 発表) 蛍光X線分析による無機顔料の分析 高松塚古墳壁画の顔料分析に関する研究報告会 奈良大学 04.6.1

(6 発表) 可搬型 XRF による国宝の材質調査 日本鑑識科学技術学会微細天然物研究会 東京文化財研究所 04.9.15

(6 発表) 高松塚古墳壁画の蛍光X線分析 第28回文化財の保存・修復に関する国際研究集会「文化財の非破壊調査法—X線分析の最前線—」 東京都美術館 04.12.2

(6 発表) 文化財の保存と科学的調査 平成16年度文化財科学学術講演会 東京学芸大学 05.1.19

- (7 所属学会) 日本分析化学会、日本化学会、日本鉄鋼協会、文化財保存修復学会、日本文化財科学会
(8 教育) 東京芸術大学大学院非常勤講師

俵 木 悟 HYOKI Satoru (芸能部)

- (3 論文) 民俗芸能の由来語りの近代性—揖斐郡の太鼓踊の事例から— 『芸能の科学』 32 pp.143-171 04.3
(5 学会発表) シンボルとしての日本の祭り—大阪万博における「お祭り」のディスプレイ— 日本民俗学会第 56 回年会 園田学園女子大学 04.10.3
(5 学会発表) 1970 年の「お祭り」—大阪万博における民俗芸能・祭礼の表象— 第 102 回民俗芸能学会例会 早稲田大学演劇博物館 05.1.29
(6 発表) UNESCO 無形文化遺産条約制定の経緯と日本の文化財保護政策との関係 「伝承」に関する学際的研究会 千葉大学 04.7.23
(6 発表) 各地の鹿島踊・弥勒踊とその特色 第 35 回芸能部公開学術講座「鹿島踊の諸相」 江戸東京博物館ホール 04.12.26
(6 発表) 文化財保護の手段としての映像記録作成—日本の民俗芸能の場合— 国際研究ワークショップ「伝統芸能の映像記録の可能性と課題」 国立民族学博物館 05.2.21
(7 所属学会) 日本文化人類学会、日本民俗学会、民俗芸能学会、藝能史研究会
(7 委員会) 民俗学と文化資源に関する特別委員会 (日本民俗学会)

二 神 葉 子 FUTAGAMI Yoko (国際文化財保存修復協力センター)

- (2 報告) 三次元写真測量の手法を応用した前二子古墳石室の計測 (津村宏臣、二神葉子) 『大室古墳群 史跡前二子古墳・中二子古墳・後二子古墳ならびに小古墳 保存整備事業報告書』 pp.194-195 前橋市教育委員会文化財保護課 05.3
(2 報告) 文化財法典 (今井健一朗、鳥海基樹、二神葉子) 『フランスにおける歴史的環境保全—重層的制度と複層的組織、そして現在—』 pp.307-343 東京文化財研究所 05.3
(2 報告) 第 5 節 最勝院五重塔の内陸直下型地震の危険度 (二神葉子、隈元崇) 第 3 章 最勝院五重塔における風と地震についての検討 『文化財の防災計画に関する研究 最勝院五重塔振動測定調査報告』 pp.116-122 東京文化財研究所 05.3
(3 論文) デジタル写真測量技術を用いた文化財建造物の計測と劣化評価 (二神葉子、津村宏臣) 『文化財保存修復学会誌』 49 05.3
(3 論文) 文化財台帳の発信—文化財情報のデータベース化・外部との連携 『フランスにおける歴史的環境保全—重層的制度と複層的組織、そして現在—』 pp.283-292 東京文化財研究所 05.3
(5 学会発表) 写真測量技術の応用による 3 次元 DCM の取得と利用 (津村宏臣、二神葉子) 日本文化財科学会第 21 回大会 立命館大学 04.5.15-16
(5 学会発表) 三次元写真測量技術を用いた文化財建造物の劣化状況の評価 (二神葉子、津村宏臣) 文化財保存修復学会第 26 回大会 奈良大学 04.6.12-13
(5 学会発表) Shallow Subsurface Geometry of Active Thrust Faults Along the Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line, Central Japan, Determined from Closely Spaced Gravity Survey and Fault Dislocation Model (M Kuriyama, T Kumamoto, K Ishihara, Y Futagami, Y Ikeda) , AGU Fall Meeting 2004, Moscone Center West, San Francisco, 04.12.13-17.
(6 研究会発表) 文化財防災への GIS の利用 文化財保存修復協議会 東京文化財研究所 05.3.24
(7 所属学会) 文化財保存修復学会 (運営委員)、日本文化財科学会、日本第四紀学会、ICOMOS

前 田 耕 作 MAEDA Kosaku (客員研究員)

- (2 報告) アフガニスタンの遺産を守る 『LOOK JAPAN』 (英・西・中版) 576 pp.10-12 04.1 (前年度業績)
(2 報告) 民間のエネルギー—こころが支える人類の遺産 『ユネスコ』 5月号 pp.2-4 04.5

- (2 報告) バーミヤン遺跡を調査して 『アフガニスタン』 pp.21-23 04.11
- (2 報告) アフガニスタン仏教遺跡の保存復興事業の現状 『寺門興隆』 pp.102-108 04.12
- (2 報告) History of the Bamiyan Region: 2.1 Introduction, 2.2 From the First Millennium B.C. to the Early 20th Century, 2.3 Since 1994, 2.5 Conclusion *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan* p.16, pp.16-20, pp.20-22, pp.27-28, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo 04.12
- (3 論文) アジアを通して日本とフランスをつないだ二人の考古学者 『国際交流』 102 pp.28-33 04.1 (前年度業績)
- (3 論文) バクトリア王国 別冊『環』⑧『「オリエント」とは何か』 pp.120-129 藤原書店 04.6
- (3 論文) デュメジルとオリエント考古学 『三笠宮殿下米寿記念論文集』 pp.225-232 刀水書房 04.11
- (4 解説) 文化の力に学ぶ 『機』 藤原書店 04.1 (前年度業績)
- (4 解説) 現代パキスタン分析 『週刊読書人』 4月16日号 04.4.16
- (4 解説) こころの風景 (3連載) 『朝日新聞』 夕刊 04.6.6,7,8
- (4 解説) バーミヤン遺跡の破壊と復興 アフガニスタン文化研究所ニュースレター 04.7
- (4 解説) 黒い裏箔へのまなざし 『機』 藤原書店 04.10
- (6 講演) バーミヤンの保存作業の現状 中央大学 23 番教室 04.1.24 (前年度業績)
- (6 講演) ゴロアスター教論考をめぐって バルブーザの会 本郷学会館 04.1.17 (前年度業績)
- (6 講演) 玄奘三蔵とバーミヤン① 薬師寺東京別院 04.2.12 (前年度業績)
- (6 講演) 玄奘三蔵とバーミヤン② 薬師寺東京別院 04.3.12 (前年度業績)
- (6 パネリスト) 国際文化交流が開く平和への道 佐川美術館文化交流シンポジウム ヤクルトホール 04.3.10 (前年度業績)
- (6 講演) 玄奘三蔵とバーミヤン③ 薬師寺東京別院 04.4.12
- (6 講演) 玄奘三蔵とアフガニスタン 奈良市西の京 薬師寺 04.5.4-5
- (6 講演) 玄奘三蔵とバーミヤン④ 薬師寺東京別院 04.5.12
- (6 講演) バーミヤンの壁画 オリент友の会 古代オリент博物館 04.6.5
- (6 講演) アフガニスタンを現地から考える 東京外国語大学 04.7.22
- (6 講演) バーミヤン仏教遺跡の保存修復の現状 東京芸術大学大学院美術研究科文化保存学保存修復 東京芸術大学 04.7.8
- (6 講演) バーミヤン仏教遺跡 東京国際フォーラム 04.8.15
- (6 講演) アフガニスタンの文化遺産 全5回—バーミヤン遺跡からギリシア都市遺跡まで、歴史と現状を語る—①歴史と現状について ②ギリシアの都市遺跡 ③バーミヤンの仏教遺跡 ④アフガニスタンの仏塔 ⑤三蔵法師とアフガニスタン 千代田区民講座 九段社会教育会館 04.8.26,9.2,9.16,30
- (6 講演) アフガニスタンとその知られざる歴史と文化 NPO 法人「ゆうかり塾」 八尾高校講堂 04.9.12
- (6 講演) 過去と未来をつなぐ文化遺産 —バーミヤン遺跡から軽井沢まで— 軽井沢町中央公民館大講堂・軽井沢町歴史民俗資料館 04.10.3
- (6 講演) バーミヤンの文化遺産 川崎市新百合 21 ホール 04.11.19
- (6 講演) バーミヤン遺跡の歴史 有楽町朝日ホール 04.12.21.
- (6 ラジオ出演) 国際文化交流が開く平和への道 パネリスト 佐川美術館文化交流シンポジウム NHKBS2 04.3.14 (前年度業績)
- (6 ラジオ出演) NHK カルチャーアワー全4回 古代アフガニスタン「バーミヤン王国の興亡」①王国の形成 ②バーミヤンの仏教と大仏の建立 ③異文化の侵攻と王国の崩壊 ④バーミヤン再発見と大仏の破壊・再建 NHK ラジオ第2放送 04.9.5,12,19,26
- (7 所属学会) 日本オリент学会、日本西アジア考古学会
- (7 委員会) ユネスコ・アフガニスタン文化遺産保護国際調整委員会 (委員)

三浦定俊 MIURA Sadatoshi (協力調整官)

- (1 公刊図書) 三浦定俊、木川りか、佐野千絵、山野勝次著編『文化財害虫事典 改訂版』クバプロ 04.4
- (1 公刊図書) 隠された技法の秘密—源氏物語絵巻を探る— 『文化財の保存と修復』6 クバプロ 04.6
- (1 公刊図書) 四.壁画に関する科学的調査(石崎武志、佐野千絵、三浦定俊) 高松塚古墳石室内温湿度測定結果 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』中央公論美術出版 04.6
- (1 公刊図書) 四.壁画に関する科学的調査(木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 高松塚古墳の微生物調査概要 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』中央公論美術出版 04.6
- (1 公刊図書) 五.壁画の新光学的調査について(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 高松塚古墳壁画の顔料調査 文化庁監修『国宝高松塚古墳壁画』中央公論美術出版 04.6
- (1 公刊図書) 三浦定俊、佐野千絵、木川りか著 『文化財保存環境学』朝倉書店 04.12
- (1 公刊図書) 紅白梅図屏風の透過X線調査(三浦定俊、松島朝秀) 『国宝 紅白梅図屏風』pp.173-174 中央公論美術出版 04.6
- (2 報告) キトラ古墳開封前の石室内空気環境調査報告(佐野千絵、間瀬創、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.157-164 05.3
- (2 報告) キトラ古墳の前室および石室における菌類調査報告(木川りか、佐野千絵、間瀬創、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.165-172 05.3
- (3 論文) 尾形光琳筆 紅白梅図屏風の蛍光X線分析(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊、内田篤呉) 『保存科学』44 pp.1-16 05.3
- (3 論文) 紫外・可視光反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究(1)(吉田直人、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.17-24 05.3
- (3 論文) FCRによるトヨタコレクションの調査(三浦定俊、松島朝秀) 『保存科学』44 pp.25-34 05.3
- (3 論文) 印刷用製版オルソフィルムRO-100とHSのエミシオグラフィ撮影用フィルムとしての特徴(松島朝秀、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.35-42 05.3
- (3 論文) 高松塚古墳における30年間の気温変動(三浦定俊、石崎武志、赤松俊祐) 『保存科学』44 pp.141-148 05.3
- (4 解説) 鎌倉大仏のガンマ線透視撮影 『NLだより』10 (No.322) p.1 04.10
- (4 解説) 文化財と環境 『WEATHAC』5 pp.1-4 04.10
- (4 解説) パリの週末—交友録— 『日本経済新聞』 04.12.25
- (4 解説) ささまざまな放射線の利用 2 歴史分野—年代測定とは— 『教育支援サイト・ニュークパル』(ホームページ掲載) 05.1
- (5 学会発表) FCRを利用した木材試料の研究(松島朝秀、三浦定俊) 日本文化財科学会第21回大会 立命館大学 04.5.14-15
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究1—ハンディ蛍光X線分析装置による壁画顔料の分析—(早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究2—墳丘部と壁画表面の水分分布測定—(石崎武志、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究3—高松塚古墳の微生物—(木川りか、佐野千絵、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 国宝高松塚古墳壁画の保存に関する研究4—浮遊菌・付着菌から見た微生物制御—(佐野千絵、間瀬創、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) IPを利用した透過X線撮影のダイナミックレンジの検討(松島朝秀、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13
- (5 学会発表) 超高感度紫外・可視分光光度計による有機染料非破壊分析—(1)(吉田直人、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26回大会 奈良大学 04.6.12-13

(6 講演) 梱包の科学 文化庁主催「第4回指定文化財(美術工芸品)企画展示セミナー(東日本)」 東京国立博物館 04.7.5

(6 講演) 文化財と環境 博物館学特別講義 名古屋芸術大学 04.10.19

(6 講演) FCRによる博物館資料の調査 博物館と新科学技術国際学術検討会 国立台南芸術大学博物館研究所(中華民国) 04.11.4-5

(6 講演) 梱包の科学 文化庁主催「第4回指定文化財(美術工芸品)企画展示セミナー(西日本)」 京都国立博物館 04.11.8

(6 講演) 文化財の光学的調査 奈良文化財研究所平成16年度埋蔵文化財発掘調査技術者特別研修「遺物観察・構造調査課程」 奈良文化財研究所 04.11.17

(6 講演) 新しい科学的調査法とその成果 第5回琉球漆芸研究会 浦添市美術館 05.1.15

(7 所属学会) 文化財保存修復学会(諮問委員)、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works(IIC)、応用物理学会、計測自動制御学会、日本リモートセンシング学会、日本光学会、日本アイソトープ協会、美術史学会、日本文化財探査学会、International Council of Museums (ICOM)(日本委員会委員)、International Council of Monuments and Sites (ICOMOS)

(7 委員会) 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営会議、ユネスコ・アジア文化遺産協力事務所文化遺産保護協力事業委員会、史跡原爆ドーム保存技術指導委員会、特定非営利活動法人ジェイ・シー・ピー(評議委員)、「トヨタコレクション展」実行委員会(副委員長)

(8 教育) 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学教授(連携併任)、愛知県立芸術大学

宮田 繁 幸 MIYATA Shigeyuki (芸能部)

(2 報告) A Case Study of Preservation of Folk Performing Arts in Japan”Ayako-Mai”, *Final Report of 2004 ACCU Regional Meeting in Asia and the Pacific on Promotion of Safeguarding Intangible Cultural Heritage*, pp.119-123, 04.4.

(2 報告) 第53回全国青年大会郷土芸能講評 『第53回全国青年大会報告書』 日本青年団協議会 p.106 05.1

(3 論文) 万歳芸の保存と現状 『秋篠文化』3 pp.23-30 05.1

(3 論文) ブロック別民俗芸能大会—その歴史と現在 『芸能の科学』32 pp.173-200 05.3

(5 発表) 民俗芸能大会をめぐる今日の状況 第7回民俗芸能研究協議会 東京文化財研究所 04.11.18

(5 発表) 博多仁和加一特に「段物」をめぐる にわか学会第9回大会 福岡女学院大学 05.3.26

(6 講演) 文化行政—文化財保護制度の歩みと現状— 早稲田大学オープン教育センター講座 早稲田大学 04.7.15

(6 講演) 無形民俗文化財・芸能の保存と活用—全国の人形芝居の事例を中心として— 全国人形芝居サミット&フェスティバル in KAMEOKA ガレリア亀岡 05.1.29

(6 発表) Some Examples of Designation and Selection of Intangible Folk-Cultural Properties in Japan - In the Case of Folk Performing Arts, ACCU: Workshop on inventory-making for Intangible Cultural Heritage Management, Tokyo, Japan ユネスコ・アジア文化センター 05.12.6

(6 発表) Field Studies of Folk Performing Arts in Japan – Using the “Urgent Inquiry of Folk Performing Arts” as an Example, ACCU: Workshop on inventory-making for Intangible Cultural Heritage Management, Tokyo, Japan ユネスコ・アジア文化センター 05.12.7

(7 所属学会) 民俗芸能学会(理事)、にわか学会(企画委員)、楽劇学会

(7 委員会) 講談調査推進委員会、伝統文化活動データベース整備検討委員会、全国民俗芸能大会企画委員会、全国青年大会運営委員会、伝統文化こども教室関連事業企画委員会、日本祭り文化事典編集委員会、ユネスコ・アジア文化センター無形文化遺産事業委員会

宗田 好史 MUNETA Yoshihumi (客員研究員)

(1 公刊図書等) 井口和起、上田純一、野田浩資、宗田好史著『京都観光学のスズメ』 人文書院 05.3

(7 所属学会) 国際記念物遺跡会議 (理事)、日本環境会議会員 (理事)、農村計画学会、地中海学会、日本都市計画学会、日本建築学会、日本造園学会、国立民族学博物館共同研究員、京都市大規模小売店舗立地審議会委員

(8 教育等) 京都府立大学助教授

森井 順之 MORII Masayuki (修復技術部)

(2 報告) 臼杵磨崖仏保存調査—古園石仏群における凍結破砕と覆屋内風環境— 『韓日共同研究報告書 2004』 pp.75-90 大韓民国文化財庁・国立文化財研究所／東京文化財研究所 04.2

(2 報告) 最勝院五重塔の風と地震についての検討—台風経路と被災文化財 (森井順之、和田明日香) 『文化財の防災計画に関する研究—最勝院五重塔振動測定調査報告—』 pp.71-82 東京文化財研究所 05.3

(3 論文) 土壁の水分吸収・放出に関する基礎的研究 (朽津信明、森井順之) 『保存科学』 44 pp.103-108 05.3

(3 論文) 鎌倉市百八やぐらの保存を目的とした亀裂計測 (朽津信明、李心堅、関博充、森井順之、遠藤努) 『保存科学』 44 pp.109-116 05.3

(3 論文) 敦煌莫高窟第 53 窟仏龕周辺における土壁中の可溶性塩類について (谷口陽子、森井順之、陳港泉、蘇伯民) 『保存科学』 44 pp.127-134 05.3

(5 学会発表) Frost Weathering of Bricks Composing an Abandoned Railway Tunnel in Central Japan (poster) (C. Thomachot, N. Matsuoka, N. Kuchitsu, M. Morii and C. T. Oguchi), European Geosciences Union 04, Nice, France, 04.4.28.

(5 学会発表) 碓氷峠鉄道施設における煉瓦の塩類風化と凍結破砕の比較 (朽津信明、森井順之) 日本地質学会第 111 年年会 千葉大学 04.9.19

(6 発表) 碓氷峠鉄道施設の保存修復 第 15 回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「大型建造物の保存修復と活用」 東京文化財研究所 04.10.4

(6 発表) 臼杵磨崖仏保存調査—古園石仏群における凍結破砕と覆屋内風環境— 韓日共同研究発表会—石造文化財の科学的保存と環境 大韓民国国立文化財研究所講堂 05.2.24

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、土木学会、日本気象学会、水文・水資源学会

山内 和也 YAMAUCHI Kazuya (国際文化財保存修復協力センター)

(1 公刊図書) バーミアン仏教遺跡の誕生 別冊『環』⑧『「オリエント」とは何か』 pp.222-223 藤原書店 04.6.30

(2 報告書) *Preliminary Report of the Iran Japan Joint Archaeological Expedition to Gilan, Third Season* (Yamauchi Kazuya, Ohtsu Tadahiko, Jebrael Nokandeh, eds.), Iranian Cultural Heritage and Tourism Organization, Tehran and Middle Eastern Culture Center in Japan, Tokyo, 04.

(2 報告) アフガニスタン文化遺産復興に対する我が国の取り組みについて 2002 年 5 月～2003 年 12 月 『アフガニスタンの文化遺産の復興をめざして』 pp.81-104 東京文化財研究所 04.3

(2 報告) 埋蔵文化財の調査技法 バーミヤーン遺跡地下探査 (山内和也、高瀬尚人) 『検査技術』 9-6 pp.8-14 04.6

(2 報告) 破壊された仏教遺跡バーミヤーン 『季刊民族学』 110 pp.22-29 04.10.20

(2 報告) バーミヤーン遺跡保護に対する日本の貢献 『国際シンポジウム 世界遺産バーミヤーン遺跡を守る—現場からのメッセージ予稿集』 東京文化財研究所 pp.12-13 04.12.21

(2 報告) General Survey by the Japanese Team, *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan*, pp.29-41, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.

(2 報告) Cultural Landscape: an Archaeological Perspective, *Protecting the World Heritage Site of Bamiyan* pp.66-68, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.

(2 報告) アフガニスタンの文化遺産の現状と保存修復協力 第 19 回「大学と科学」公開シンポジウム予稿集『人類の歴史を護れ 戦中、戦後における文化遺産の保護と国際協力』 pp.13-14 05.1

- (2 報告) 文化財研究所による 2004 年度バーミヤーン遺跡調査の成果 『平成 16 年度 今よみがえる古代オリエン
ント 第 12 回西アジア発掘調査報告会報告集』 日本西アジア考古学会 pp.106-110 04.3
- (5 発表) 戦争と文化財：イラクとアフガニスタンの現場から (山内和也、松本健) 日本西アジア考古学会第 8 回
総会・大会 名古屋大学 03.6.21
- (5 発表) アフガニスタン、バーミヤーン遺跡の破壊、そしてその保護 国際紛争と文化遺産の保護—イラクとアフ
ガニスタンで活動する考古学者の視点から— 近畿大学国際人文科学研究所公開セミナー (第 6 回日本西アジア考古
学会公開セミナー) 近畿大学国際人文科学研究所 04.11.10
- (5 発表) The Progress Made in 2004 Regarding the Preservation of Mural Paintings and on Future Activities,
Archaeological Activities Carried Out in 2004, Third Expert Working Group on the Preservation of the Bamiyan
site, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 04.12.18, 19.
- (5 発表) バーミヤーン遺跡保護に対する日本の貢献 国際シンポジウム「世界遺産バーミヤーン遺跡を守る—現場
からのメッセージ」 有楽町朝日ホール 04.12.21
- (5 発表) アフガニスタンの文化遺産の現状と保存修復協力 「人類の歴史を護れ 戦中、戦後における文化遺産の
保護と国際協力」 有楽町朝日ホール 05.1.22
- (5 発表) 文化財研究所による 2004 年度バーミヤーン遺跡調査の成果 平成 16 年度 「今よみがえる古代オリエ
ント：第 12 回西アジア発掘調査報告会」 池袋サンシャインシティ文化会館 04.3.6
- (6 シンポジウムパネラー) いかにあるべきか—国際協力と日本の貢献 「人類の歴史を護れ 戦中、戦後における
文化遺産の保護と国際協力」 有楽町朝日ホール 05.1.23
- (6 所属学会) 日本オリエント学会 (編集委員)、日本西アジア考古学会 (企画担当役員)

山 梨 絵美子 YAMANASHI Emiko (協力調整官—情報調整室)

- (3 論文) Japanese Encounter with Western Painting in the Meiji and Taisho Eras “*Japan and Paris*”, pp.28-37,
Honolulu Academy of art, 04.4.
- (3 論文) 井垣嘉平と鹿子木孟郎—日本洋画におけるアカデミズムの一側面 『浅井忠「光」の系譜 間部時雄と京
都の仲間たち』展図録 pp. 18-23 府中市美術館 04.4
- (3 論文) 絵画の自立のかたわらで—『パンテオン会雑誌』の表紙、挿絵などをめぐって パンテオン会研究会編『パ
リ 1900 年—日本人留学生の交流「パンテオン会雑誌」資料と研究』 pp. 403-409 ブリュック 04.9
- (3 論文) 黒田清輝の二度目の渡欧—そしてパンテオン会との関わり パンテオン会研究会編『パリ 1900 年—日本
人留学生の交流「パンテオン会雑誌」資料と研究』 pp. 447-457 ブリュック 04.9
- (3 論文) 洋画家の渡欧の転換期—黒田清輝、鹿子木孟郎を中心に 高階秀爾監修『画家の歩いたヨーロッパ』 pp.
27-33 美術出版社 04.10
- (3 論文) 清原玉とエレオノーラ・ラグーザの間 『彷徨月刊』2005 年 2 月号 pp. 8-13 05.2
- (3 論文) 「書画」から「絵画」へ—横山松三郎を中心に 『—モノづくりの源流—トヨタコレクション展』図録 pp.
167-169 産業技術記念館 05.3
- (3 論文) 絵画は諸製作物の基礎—「美術」とモノづくりの間 『TOYOTA COLLECTION』 pp. 224-229 トヨ
タ自動車・中日新聞社 05.3
- (3 論文) 明治洋画の社会的地位の確立と浅井忠 『没後 100 年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション浅井忠
展』図録 pp. 6-9 NHK プロモーション 05.3
- (3 論文) 西洋画受容への模索 『没後 100 年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション浅井忠展』図録 pp.10-15
NHK プロモーション 05.3
- (3 論文) 黒田清輝と国民美術協会 東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』 pp.375-392 中央公論美
術出版 05.3
- (3 論文) 作品そのものから情報を取り出す試み 『国宝 紅白梅図屏風』 pp.155-157 中央公論美術出版 05.3
- (4 資料作成) Chronology, “*Japan and Paris*”, Honolulu Academy of art, pp. 28-37, 04.4.
- (4 解説) パンテオン会雑誌「パンテオン会記事」他解題 パンテオン会研究会編『パリ 1900 年—日本人留学生の

交流「パンテオン会雑誌」資料と研究』ブリュッケ 04.9

(4 書評) 大矢鞆音著「田中一村 豊饒の奄美」『週刊ポスト』25号 小学館

(4 解説) 青木繁「海の幸」 「美術館を楽しむ NO.21 石橋美術館」朝日新聞社 05.3

(4 解説) 高橋由一「不忍池」他作品解説 『自然をめぐる千年の旅—山水画から風景画へ』展図録 愛知県美術館 05.3

(4 解説) 浅井忠筆「グレーの洗濯場」ほかの作品解説 『没後 100 年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション 浅井忠展』図録 NHK プロモーション 05.3

(4 解説) 高野時次の洋画制作 『没後 100 年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション 浅井忠展』図録 p.116 NHK プロモーション 05.3

(5 学会発表) Establishment of the Concept of Bijutsu(Fine arts) in Meiji Japan and the Role of Kuroda Seiki, 18th Conference of The International Association of Historians of Asia, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 04.12.7.

(6 講演) “Paris and Japan”展の作家たち Honolulu Academy of Art 04.4.8

(6 講演) Symposium “Japan and Paris”, Honolulu Academy of Art, 04.4.9.

(6 講演) Lecture on “Japan and Paris”, Honolulu Academy of Art, 04.4.10.

(6 講演) 日本洋画における西洋画受容—高橋由一から黒田清輝まで 台湾大学美術史学科 04.12.7

(8 テレビ出演) 壁画に挑んだ画家たち NHK 新日曜美術館 05.2.6

(8 集中講義) 多摩美術大学、金沢美術工芸大学

(8 展覧会監修) 没後 100 年記念東京国立博物館所蔵高野コレクション 浅井忠展 05.3

山 野 勝 次 YAMANO Katsuji (調査員)

(2 報告) 国立国会図書館新館 B7 古典籍課書庫の虫害調査報告 (山野勝次、木下久美子、小峰幸夫) 『文化財虫害研究所報告書』 pp.1-8 04.6

(2 報告) 平塚市美術館における生物被害調査報告 (山野勝次、小峰幸夫) 『文化財虫害研究所報告書』 pp.1-5 05.3

(6 講演) シロアリの生態と防除 第7回家屋害虫学会基礎講座 東京農業大学グリーン・アカデミー 04.9.30

(6 講演) 昆虫による文化財の被害、文化財の虫害対策 第26回文化財虫害防除作業主任者能力認定試験とその講習会 自治労会館 05.3.2

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本家屋害虫学会 (常任理事・総務委員長・編集委員・防除士認定委員)、日本応用動物昆虫学会、日本昆虫学会、日本しろあり対策協会 (理事・広報編集委員長・総務委員・シックハウス対策委員)

吉 田 直 人 YOSHIDA Naoto (保存科学部)

(3 論文) 紫外・可視反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究— (1) (吉田直人、三浦定俊) 『保存科学』44 pp.17-24 05.03

(5 学会発表) 超高感度紫外・可視分光光度計による染料非破壊分析— (1) (吉田直人、三浦定俊) 文化財保存修復学会第26会大会 奈良大学 04.6.12-13

(5 シンポジウム発表) 紫外・可視分光法による染料非破壊分析 第28回文化財の保存・修復に関する国際研究集会「文化財の非破壊調査法—X線分析の最前線—」 東京都美術館 04.12.1-3

(6 発表) 文化財染料の非破壊分析に向けて X線考古学研究会 国際高等研究所 05.02.18

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本生物物理学会

綿 田 稔 WATADA Minoru (協力調整官—情報調整室)

(4 解説) 雲谷等益筆琴棋書畫圖屏風 『國華』1309 pp.21-23 04.11

(4 解説) 伝狩野山楽筆四季耕作図 (ミネアポリス美術館蔵) 『2005 年在外日本古美術品保存修復プロジェクト フィリップモリスジャパン K.K.カレンダー基金』 文化財保護・芸術研究助成財団/フィリップモリスジャパン株式会社 04.12

(4 随筆) 紅白梅図屏風の科学調査 『光琳デザイン』 pp.28-32 淡交社 05.2

- (4 解説) 伝土佐光吉筆源氏物語図屏風(ホノルル美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成16年度(絵画/工芸品)』 pp.149-152 東京文化財研究所 05.3
- (6 講演) 雪舟—日本美術人物列伝(中世編) 東京国立博物館資料館セミナー室 04.6.17
- (6 講演) 雪舟入明について 雪舟研究会シンポジウム基調講演 山口県立美術館講座室 04.11.14
- (6 発表) 伝明兆筆雲谷等益補作「二十八祖像」(崇福寺蔵) について 美術部研究会 東京文化財研究所 05.2.9
- (7 所属学会) 美術史学会